小樽市公用車広告掲載要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、小樽市（以下「市」という。）が管理する公用車（以下「公用車」という。）への広告掲載に関し、必要な事項を定めるものとする。

(広告の掲載基準)

第2条 公用車に掲載できる広告の基準は、市の品位及び公共性・公益性を損なうおそれのないもの並びに市民に不利益を及ぼさないものであり、かつ、次に掲げる項目のいずれにも該当しないものとする。

- (1) 法令等に違反するもの又はそのおそれがあるもの
- (2) 公の秩序又は善良の風俗に反するもの又はそのおそれのあるもの
- (3) 政治活動又は宗教活動に関するもの
- (4) 個人又は団体の意見を表明するもの又は個人の宣伝に関するもの
- (5) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に規定する風俗営業に関するもの
- (6) 貸金業法（昭和58年法律第32号）第2条第1項に規定する貸金業に関するもの
- (7) 商品先物取引法（昭和25年法律第239号）第2条第3項に規定する先物取引に関するもの
- (8) 交通事故の誘発又は交通安全を阻害するおそれがあるもの
- (9) 公用車の運行上支障となるおそれがあるもの
- (10) たばこ販売業
- (11) 公営を除くギャンブルにかかるもの
- (12) 規制対象となっていない業種にあって、社会問題を起こしている業種又は事業者
- (13) 法律に定めのない医療類似行為を行うもの
- (14) 占い、運勢判断に関するもの
- (15) 興信所、探偵事務所等
- (16) 結婚相談所、交際紹介業
- (17) 債権取立て、示談引受け等を行うもの
- (18) 法令等に基づく必要な許可等を受けることなく業を行うもの
- (19) 民事再生法及び会社更生法による再生・更生手続中の事業者
- (20) 前各号に掲げるもののほか、市長が掲載することが適当でないものとして定めたもの

(広告掲載の車両等)

第3条 広告を掲載する公用車は、災害・工事等に専用するものを除き、別表1に定める市が指定するものとする。

- 2 広告の掲載位置、規格及び掲載料は、別表2に定めるとおりとする。
- 3 広告を掲載した公用車が更新等により入替えとなる場合は、入れ替えた公用車に引き続き広告掲載を行うものとする。

(広告掲載の期間)

- 第4条 広告掲載の期間は、広告掲載の開始日から当該年度の末日までとし、月単位で設定するものとする。ただし、次年度以降、更新することができる。
- 2 前項の期間には、広告掲載及び撤去の作業並びに法令等の規定に基づく当該車両の点検整備等に係る期間を含むものとする。
 - 3 広告掲載の開始日及び終了日は、市と広告主が協議の上、定めるものとする。

(広告掲載の申込み)

- 第5条 広告主は、小樽市公用車広告掲載申込書(様式第1号)に小樽市税に滞納のない証明書及び広告の原稿、図面等を添えて行うものとする。

(広告掲載の決定等)

- 第6条 市長は、前条の申込みがあったときは、広告内容を審査の上、広告掲載の可否を決定し、小樽市公用車広告掲載決定通知書(様式第2号)により広告主に通知するものとする。
- 2 広告掲載の基準に適合する申込数が募集した広告数を超えるときは、先着順によるものとする。

(広告物の形状及び材質等)

- 第7条 広告は、広告内容を表示したラッピングフィルム又はカッティングシート等の特殊フィルムの貼付によるものとし、車体塗装を行ってはならない。
- 2 前項の広告物は、広告掲載の期間内における車体からの剥離又は広告撤去に際して車体塗装の剥離が発生しない材質としなければならない。

(広告の作成等)

- 第8条 広告の作成は、広告主の責任で行うものとし、その費用の全てを広告主が負担するものとする。広告掲載及び撤去についても同様とする。
- 2 広告枠内に縦5cm、横15cm程度の大きさで「広告」と表示するとともに、その範囲を明確にし、広告であることが一目で分かるようにすること。
 - 3 広告には、広告主の名称、電話番号等の連絡先を明示すること。
 - 4 広告主は、広告掲載及び撤去の作業に当たっては、公用車の運行に支障が生じないよう事前に市と日程等の協議を行い、市の指示に従うものとする。
 - 5 広告掲載及び撤去の作業において、公用車の車体表面、塗装、構造等を毀損又は破損したときは、広告主が費用を負担して原状回復するものとする。
 - 6 天災・暴動その他の不可抗力による場合を除き、広告掲載の期間内に市の責任において広告が毀損又は破損したときは、市が費用を負担して修復をするものとする。

(広告料の納付)

- 第9条 広告主は、小樽市広告掲載決定通知書の受理後、市長が指定する納付期限までに、市が発行する納付書により、別表1に定める広告料を一括納付しなければならない。

(広告主の責任)

第 10 条 広告主は、広告内容に関する一切の責任を負うものとする。

(広告内容の変更)

第 11 条 広告主は、広告掲載の期間内に当該広告の内容を変更する場合は、事前に市に対し、変更する広告の原稿・図面等を提出し、承認を受けなければならない。

(広告掲載の取消し)

第 12 条 市長は、次のいずれかに該当するときは、広告掲載の期間内であっても、広告主に対し勧告等を行わずに広告掲載の決定を取り消すことができる。

- (1) 広告主が市税等に滞納があり、計画的に納付が行われていないとき。
- (2) 広告主が市の信頼を失墜し、業務を妨害し、又は事務を停滞させる行為を行ったとき。
- (3) 広告主が社会的信頼を著しく損なうような不祥事等を起こしたとき。
- (4) 広告主の倒産・破産等により、広告を掲載する必要がなくなったとき。
- (5) 広告主が、小樽市暴力団の排除の推進に関する条例に規定する暴力団等に該当したとき。
- (6) 市長が指定する期日までに広告掲載料を納入しなかったとき。
- (7) 広告内容の変更の指示に従わなかったとき。

(広告掲載の取下げ)

第 13 条 広告主は、自己の都合により広告掲載を取り下げることができる。

2 広告主は、広告掲載の期間内に広告掲載を取り下げるときは、事前に小樽市公用車広告掲載取下げ理由書(様式第3号)を提出しなければならない。

(広告料の返還)

第 14 条 既に納付した広告料は還付しない。ただし、広告主の責めに帰することができない事由により、広告の掲載等を中止し、又は広告の掲載等に係る契約を解除したときは、この限りでない。

2 前項の規定に基づき返還する広告料は、掲載期間の残りの月数に応じて返還する。ただし、月の途中で掲載ができなくなった場合の当該月については、日割計算して得た額(その額に10円未満の端数を切り捨てた額)とする。

(その他)

第 15 条 この要綱に定めるもののほか、公用車への広告掲載に関し必要な事項は市長が別に定める。

附則

この要綱は、令和6年10月1日から施行する。

別表 1 (第 3 条関係)

所管部署	車種	ナンバー
財政部 契約管財課	ワゴン R	札幌 582 う 8770
財政部 契約管財課	ワゴン R	札幌 581 め 1211
財政部 契約管財課	ワゴン R	札幌 581 め 1206
財政部 契約管財課	ノート	札幌 504 つ 2268
財政部 契約管財課	キャリイ	札幌 480 て 2116
財政部 契約管財課	キャラバン	札幌 400 み 1688
財政部 契約管財課	カローラフィールダー	札幌 504 つ 2725
財政部 契約管財課	タウンエース	札幌 400 む 0043
財政部 契約管財課	アルト	札幌 581 ゆ 1445
財政部 契約管財課	セレナ	札幌 504 ち 9727
財政部 契約管財課	カローラツーリング	札幌 303 ま 5308
財政部 契約管財課	ワゴン R	札幌 581 み 4707
財政部 契約管財課	ワゴン R	札幌 581 め 5745

ただし、上記に加えて、令和 6 年度に消防本部で導入予定のプラグインハイブリッド車 エクリプスクロスを含むものとする。

別表 2 (第 3 条関係)

掲載位置	申込単位	規格 (1 面あたりに掲載 可能な最大の寸法)		広告料 (税別)	
				月 額	年 額
側面 (2 面)	1 台 (2 面)	縦 50 cm	横 50 cm	2,500 円	30,000 円

様式第 1 号（第 5 条関係）

小樽市公用車広告掲載申込書

令和 年 月 日

小樽市長

広告掲載申込者
住所（所在地）
名 称
代表者職・氏名
電話番号（代表）
担当者職・氏名

小樽市公用車広告掲載要綱第 5 条の規定により、次のとおり申込みます。

広告名	
広告内容等	別紙添付資料のとおり
掲載期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
掲載台数	台

小樽市税に滞納のない証明書

広告の原稿、図面等

様式第 2 号（第 6 条関係）

小樽市公用車広告掲載決定通知書

令和 年 月 日

様

小樽市長

小樽市公用車広告掲載要綱第 6 条の規定により、広告掲載を決定いたしましたので、通知いたします。

様式第 3 号（第 13 条関係）

小樽市公用車広告掲載取下理由書

令和 年 月 日

小樽市長

広告掲載申込者
住所（所在地）
名 称
代表者職・氏名
電話番号（代表）
担当者職・氏名

小樽市公用車広告掲載要綱第 13 条の規定により、次のとおり広告掲載を取り下げます。

取下げ理由